



2012年7月23日(月)

報道関係者各位

菅川平和財団 (SPF)

菅川平和財団主催「福島原発危機の検証と日米協力」プロジェクト
成果発表会開催のご案内

「福島原発事故と危機管理：日米同盟協力の視点から」

公益財団法人 菅川平和財団（東京都港区、会長：羽生次郎）では、「福島原発危機の検証と日米協力」プロジェクトの成果発表会を以下の通り開催いたします。

<日 時> 2012年7月30日(月) 14:00~18:00 (13:30 受付開始)

<会 場> 日本財団ビル2階 大会議室 (東京都港区赤坂1-2-2)

日英同時通訳付 入場無料

プログラムおよび登壇者は別紙1参照

参加ご希望の方は、7月27日(金)までに当財団HP

http://www.spf.org/event/article_8086.html から

又は別紙2の用紙でFAX(03-6229-5473)にてお申し込みください。

お問合せ先：菅川平和財団事業部 日米交流チーム (電話：03-6229-5432)

このプロジェクトでは、昨年7月から1年間、福島原発事故に対する日米両国の対応とその教訓を検証・分析し、核テロを含む日米同盟の危機対処能力の強化に資する提言を行うことを目標に活動してきました。

日米両国の数多くの専門家のご協力を得て、その報告書を完成させるにあたり、このたび米国からリチャード・ラブ氏(米国国防大学教授)、ジェーン・ナカノ氏(米国戦略国際問題研究所フェロー)をゲストに迎え成果発表会を開催致します。ラブ教授は、米国国防総省において福島原発事故後の日米協力構築に携わった経験を持ち、ナカノ氏は原子力を含むエネルギー問題の専門家です。

報告書の最終案をもとに、福島原発事故への日本の対応、日米間のコーディネーションの実態、そして今後の日米協力の可能性について議論し、米国の視点から2名の専門家にコメントをいただきます。また、ラブ教授には特別対談として「国防総省から見た福島原発危機」についてもお話しいただく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

笹川平和財団主催「福島原発危機の検証と日米協力」プロジェクト
成果発表会

「福島原発事故と危機管理：日米同盟協力の視点から」

＊プログラム＊

14：00	開会・挨拶
14：05～14：20	プロジェクト紹介
14：20～15：35	パネル1「検証：福島原発事故と日本の対応」
15：45～17：00	パネル2「教訓と提言：日米協力の可能性－同盟の機能と核セキュリティ」
17：05～18：00	特別対談「日米の危機管理」（リチャード・ラブ氏、秋山信将氏）
18：00	終了

<登壇予定者>

《研究会メンバー》

秋山信将	(一橋大学准教授・座長代理)
佐藤丙午	(拓殖大学教授)
内藤香	(核物質管理センター理事長)
直井洋介	(日本原子力研究開発機構 (JAEA) 核不拡散・核セキュリティ総合 支援センター次長)
勝田忠広	(明治大学准教授)

《ゲスト》

リチャード・ラブ	(米国国防大学教授)
ジェーン・ナカノ	(米国戦略国際問題研究所フェロー)

笹川平和財団事業部 日米交流事業担当宛 (FAX:03-6229-5473)

笹川平和財団主催「福島原発危機の検証と日米協力」プロジェクト
成果発表会

「福島原発事故と危機管理：日米同盟協力の視点から」

2012年7月30日(月)
於日本財団ビル2階大会議室

申込用紙

ご出席を希望される方は以下をご記入の上ご返信ください。

フリガナ

ご芳名: _____

ご所属: _____

お役職: _____

ご住所: _____

お電話番号: _____

E-mail: _____